

令和5年度 第1回石川県支部会員交流イベント盛会に無事終了しました

本来であれば3月に開催予定だった第1回会員交流イベントでしたが、1月1日に発生した能登半島地震により壊滅的状況で開催を猶予していましたが、ようやく道路も復旧が進み対面での通行が可能となり、ここに輪島及び珠洲・穴水の会員を招いて7月20日（土）に開催することができました。、第一部は第9回石川県支部長杯争奪ボウリング大会、第二部は会場を替えての懇親会&表彰式と16時から20時まで楽しみました。

第一部ボウリング大会は、今年も本部山田会長と隣県富山県支部からの友情参加のなか、石川県支部長杯と同窓会会長杯の争奪戦が繰り広げられました。



16時より開会式が行われ、大会委員長である山下支部長の挨拶に続き昨年度優勝・準優勝者による支部長杯、同窓会会長杯の返還がされ、山下支部長、山田会長がカップを受け取りました。

寺田事務局長補佐よりルール説明の後、各自練習投球の後、始球式に移り山田同窓会会長が一球入魂で投球、残念ながらストライクとはなりませんでしたが本番への温存でありました。ゲームが始まるとなんと山田会長はストライクの連続で高得点をマークしておりました。各レーンに分かれてそれぞれが和気あいあいとそして我こそは優勝をと頑張っていました。



第二部は、ボウリング大会で流した汗の分を補うため、金沢ゆめのゆ 1 階宴会場に場所を移して12名が参加して懇親会を開宴。今回は春の叙勲にて旭日小綬章を授章された副支部長漆谷豊和氏のお祝い会とさせていただきます。開宴にあたり、山下支部長の挨拶があり、ご臨席の山田同窓会長並びに福井県支部青木支部長より挨拶をいただいて、富山県支部上坂事務局長のご発声で乾杯が行われました。



会員同士の歓談では、健康づくり、ボウリング大会の様々、仕事の話、子供や孫の話とそれぞれにマスクのない中で会話が弾んでおりました。

時間も後半に入りいよいよ本日のボウリング大会の成績発表と表彰式に移りました。

競技の結果、石川県支部長杯（優勝）は昨年に続き中西隆之理事が2連覇で支部長より支部長杯を受け、続いて同窓会会長杯（準優勝）はなんと最高齢でストライクを連発した山田会長が準優勝となり、本来は山田会長より会長杯を受けるのですが本人が受ける側となったため山下支部長より受けました。第三位は田中均副支部長がトロフィーを受け、それぞれ賞状と豪華副賞を手に入れました。

懇親会の終盤は参加者の皆様の益々のご健勝とご多幸そして同窓会並びに石川県支部の発展を祈願して田中副支部長による閉会挨拶にて、令和5年度第1回石川県支部会員交流会イベントの幕を閉じました。

